

# 3 健康チェックと収容後の健康管理

収容された子猫は、健康チェックを行い、譲渡までの期間中、適切に健康管理します。  
健康チェックや管理の基準は、各施設によってさまざまです。  
以下は、東京都動物愛護相談センター多摩支所の「譲渡子猫の管理マニュアル」の事例です。

## 子猫の健康管理フローチャート

東京都動物愛護相談センター多摩支所の事例

### 収容

引取られた（飼養管理期限を過ぎた）子猫のうち、概ね300グラム以上で、明らかに健康上の問題のある子猫及び極端に攻撃性を示す子猫を除き譲渡候補となるかの判断のため、ステージ1用のケージに一時収容する。



### ステージ①

#### 検疫期間：適性判定期間 約1週間程度

- 毎日健康および性格などを観察する（体調不良や著しく性格に問題がある場合は、処分の対象とする）
  - 時期により外部寄生虫駆除剤を行う
  - 眼性疾患予防のため、点眼を適宜行う
- ステージ1の期間中で、子猫の譲渡適性について判定し、適性があると判断した子猫については、ステージ2で管理する。



※3 駆虫



※4 眼性疾患予防

### 感染症予防の対策

上記のフローチャートで紹介している、東京都動物愛護相談センター多摩支所では、収容された子猫が感染症に感染している恐れがあることから、以下のように、二次感染及び施設内汚染の防止に努めています（ステージ1、ステージ2共通）。

- 搬入前後に、ケージの消毒を行う。
- ケージ、給餌給水用食器、トイレ、敷物（ケージ内のゴムマットなど）は毎日洗浄し、ケージ以外は毎日消毒を行う。
- ケージ内に入れて使用したタオルは、毎日の清掃時に塩素系消毒薬などにつけて消毒し、その後、洗たく乾燥を十分に行う。

さらに追加事項として以下のような工夫もしています。

- ステージ1用の部屋と、ステージ2用の部屋は、建物内で最も離れて位置する部屋を使用する。
- ステージ1の子猫を世話するスタッフと、ステージ2のスタッフは、別人とする。





※1 体重測定(個体管理)



※2 健康チェック

## ステージ②

### 譲渡候補子猫の飼養期間 譲渡になるまで

- 譲渡候補子猫として、ステージ2用のケージに移す
- 外貌検査～写真撮影～「譲渡子猫個体管理表」により個体管理※1
- 毎日健康チェックを行う※2
- 体重が400～500グラムに達している子猫は駆虫を行う※3
- 適宜、糞便検査を行う
- 適宜、インターフェロン製剤の接種や高栄養のフードの給餌等により免疫力を高め、感染症の発症を抑制する
- 眼性疾患予防のため、点眼を適宜行う※4
- 適切な時期に混合ワクチンを接種する※5

■ ステージ2において、健康状態の悪化が生じた場合、ステージ1用ケージに移しステージ2の子猫とは区別する。また、予後不良と判断した場合や、譲渡にならないような問題が発見された場合には、処分の対象とする。

## 譲渡へ



※5 ワクチン接種

### 参考：譲渡子猫個体管理表

東京都動物愛護相談センター多摩支所の事例

猫No.	収容日 収容区分 管理番号等	種類	性別	体重・特記すべき健康状態・健康管理	毛色・特徴	ステージ1から ステージ2への評価	譲渡状況	写真
	月 日 市町村  21-1 23 21-3	雑	♂	月 日 g	白 黒 灰 三毛 茶 トラ キジ	ステージ1	月 日 譲渡/死亡/送致	
	年齢：		♀	外部寄生虫駆除剤 月 日 インターフェロン製剤 月 日 駆虫薬 月 日 手術済 ワクチン 月 日	長・中・短 直・曲 尾	ステージ2： 月 日～	譲渡先  一般/団体 ( 区市町)	